



# 郵政産業ユニオン TOKYO

● 発 行 ●  
 郵政産業労働者ユニオン  
 東京地方本部  
 発行責任者 鶴島 一広  
 〒104-0031 中央区京橋 3-6-3  
 京橋通郵便局 5F  
 TEL・FAX 03-3535-5447  
 piwutokyo@yahoo.co.jp



## 京橋

京橋川は今は埋め立てられ、高速道路がその上を走っています。東京地方本部は、その近くの京橋通郵便局5階にあります。

「京橋」は、1603年の創建とされる日本橋とほぼ同時期に京橋川に架けられた歴史ある橋です。1963年から1965年、東京オリンピックを前後して川の埋め立て工事に伴い撤去された。

その名残を留めるものとして石造の親柱二基（左右の写真）と石およびコンクリート造の親柱一基（写真下）が残されている。



## 新年おめでとうございます

委員長 鶴島一広

人件費、経費削減と慢性的な要員不足の中での年末年始繁忙の作業ご苦労様です。会社が経費削減を叫ぶ中、職場労働者は要員不足で常態的な残業と休憩・休息時間も取れない過酷な労働を虐げられています。交通事故、労災事故もいっこうに減っておらず、精神疾患を患う労働者も増え続け、まさにブラック企業そのものであります。

リカン便との統合失敗で100億円もの大きな損失を出して以降、一時金は減らされ、賃金も低下し続けています。会社は、私たちの切実な賃上げ要求にも「経営が厳しい」と全く応えてきませんでした。しかし、労働者を犠牲に溜め込んだ内部留保は3兆5千億円以上もあり、私たちの増員要求、賃上げ要求に比べる体力は充分にあります。

17春闘は、連続で低下して共になんばりましょう。



二基の石造親柱は1875年（明治8年）に石造アーチ橋に架け替えられた時のものです。江戸時代の伝統を引き継ぐ擬宝珠（ぎぼし）の形をしており、詩人の佐々木支陰の筆による「京橋」と「きやうはし」の橋名が彫られている。

石およびコンクリート造の親柱は、1922年（大正11年）の拡張工事でアール・デコ風の橋に架け替えられた時のものです。ガス燈の燈柱は明治7年の実物を使用。燈具は忠実に復元されている。

## 告示

郵政産業労働者ユニオン東京地本規約第26条に基づき下記の通り第9回地方委員会を開催します。

記

日時 2017年1月26日(木)  
 9時30分開場 10時開会  
 議題 ①第5回中央委員会議案について  
 ②その他  
 場所 東部区民事務所

以上



# 人員不足解消は急務 修理費の肩代わりさせない

年繁交渉

2016年年末繁忙交渉が12月13日に行われました。事前の窓口での日程調整の都合で、当日要員担当と安全推進担当が参加できないとの事なので、この2つの質問は事前におこないました。

## 要員関係

短期ゆうメイトの確保は、今年から年賀の集中処理が行われることもあり、集中局の確保は万全でなければなりません。

しかし、「12月4日の新聞広告で『北部郵便局400名募集』がされていた」こと。また、他の集中局についても「集まらないとの声が届いている」などを示し、「当日はそれが解消されているのか」、「解消するための施策はあるのか」回答を求めました。支社は、「12月8日現在8

2017年  
**新春のつどい**  
1月15日(日)  
13:30開場 13:45開会  
参加費 2,000円  
会場 文京区民センター

## 4%の確保。集中局の確保状況が悪く北部郵便局については200名近い不足状況。大きな原因としては近くにヤマトのハブが出来ていてそちらに流れている模様。時給アップも考えている。支社応援にも限度がある。銀座・新東京についても苦戦している。とにかく確保をしなければならぬ意気込みでやっている」と必要な要員確保に不安があることが明らかとなりました。

## 労働安全関係

各局の労災事故、特に集中局の「鉄パレット」事故が多発。女性が持てないほどのパレットケースの重量。通路が狭くなっている事の質問。交通事故発生については、事故発生からの基本的な流れについて質問しました。

支社は、「鉄パレ」事故については昨年より減少をして

いる。使わないことは出来ない。十分な安全対策をしていきたい。交通事故に関しては、「hasya(ナスバ)」と言う民間の自動車交通事故対策機構での適性診断を受けてもらい所属長判断で次の乗車を決定することになっている。概ね一週間程度の自転車での作業をしていただき、安全第一、同じ事故を起こさないため目的にしている」「修理費を肩代わりするようなことは無い」と回答しました。

## 営業・勤務時間関係

営業では、いまだ「立替払い」が無くならない。Webの活用がされない。また、管理者がWeb受注を知らない、出来ない。声掛けの際の「確認票」は無くなったのかの質問に、支社は「見ていない」「確認します」と現場を把握していない支社の実態が明らかとなりました。

労基法34条の休憩時間について、「超勤の際の15分間を休ませない問題」、「端末操作を作業中に休憩モードに切り替えるよう指示していたことについて」、「21時以降た

だ働きさせたことについて」どの様に是正したのかただしたことに、支社は、言葉を濁して「班長会議等で指示を強めている」と答えるだけでした。

集配では、偏った勤務指定についての是正。1月2日の作業について「コスト削減だけの考えで業務混乱をさせてはいけない」ことを要請しました。

東京では、初めての年賀の集中処理なので各支部で起きた事を地本に寄せてください。

## タテのカギ

- ① 相手の態度や行為にあきれ返って……が塞がらない
- ② 仏つくって……入れず
- ③ 科学実験などで使うガラス製のくびの長い容器
- ④ 格差是正、賃上げ、正社員化、今春も団結してたたかうぞ
- ⑤ 寝るときに頭を支えます
- ⑥ クラーク博士の言葉「少年よ……をいだけ」
- ⑦ 「白鳥」を英語で
- ⑧ 自分の父母の兄弟の子供は?
- ⑨ 表から見えない地面の下
- ⑩ あるのが不思議なほど、めったにないことを言う「……な事件
- ⑪ 和歌をつくることを専門として
- ⑫ 相手を尊敬している気持。……を払う
- ⑬ 憲法違反の武力行使につながる南スーダンから速やかに撤退させよう
- ⑭ 我慢「……の一字あるのみだ」
- ⑮ 居ても返事なし ○○す

## ヨコのカギ

- ① 昨日、今日、次は?
- ② 税金は軍事費より子育て老

## クロスワード

(出題 宮城 忠雄さん)  
マスのA~Iをつなぐと答えになります  
答えは、はがき・メールにて1月25日までに地本へ!

①	E		②		③		④	H
	A		⑤					
⑥		B			⑦			ん
			⑧	⑨	G	C		D
⑩	⑪			う		⑫		け
		⑬						
⑭	I					⑮		F

ケンコウで A B C D E F G H I

## 当面の行動日程

- 1月6日 東京地評旗開き
- 1月13日 東京全労協旗開き
- 1月15日 「新春のつどい」
- 東京地本・関東地本合同
- 1月21日 女性部学習会
- 1月22日 65歳裁判支える会集会
- 1月22日~24日 スキー交流会
- 1月26日 第9回地方委員会

